

# なんだろう？ 地域学校協働本部。

学校生活を支える活動を探る

## 小学生リポーターが、突撃取材！



何だか学校に先生じゃない大人の人が出て、地域学校協働本部って聞いたよ。なんだろう？まずは学校に来ている大人の人に聞いてみよう。あの…。



「地域学校協働本部」って、  
なんですか？

学校と地域が力を合わせて、子どもたちの学びや成長を支えるための“つなぎ役のチーム”で、すべての区立小・中・義務教育学校にあります。



南陽小  
コーディネーター  
青木さん



どんなことを  
しているの？

『授業のお手伝い』『学校行事のサポート』など学校の要望に応じたボランティア活動をしています。また学校には、「コーディネーター（地域学校協働活動推進員）」がいて、学校と地域をつなぐ役割を担っています。



枝川小  
コーディネーター  
栗栖さん



参加しているのは  
どんな人たち？

町会・自治会、保護者、地域の方などで、「できる人が、できることを、できる範囲で」参加していて、無理のない範囲で活動できる場所が良いです。



参加すると、どんな  
いいことがあるの？

子どもたちの成長を感じながら、地域の人とのつながりが広がる大切な機会になっていて、みんなの笑顔や感謝の言葉もやりがいにつながっています。



すべての学校にあり、コーディネーターさんがいてみんなで活動しているのが、地域学校協働本部なんだね。  
他にも防災訓練や登下校の見守りなどをやっている学校もあるらしいよ。  
さっそく枝川小・南陽小の活動現場に行ってみよう！

地域学校協働本部  
事業の詳細はこちら



現在導入を進めているコミュニティ・スクール（CS）では、活動部隊の地域学校協働本部と会議体である学校運営協議会が一体となって学校活動を支援しています。



▲CS事業